

## 平成 25 年度 教育実践総合センター活動概要

### 1. 構成員

センター長（併任）：教授 栗原慎二

専任教員：

≪学校教育相談実践部門≫

教授 栗原慎二 教授 岡 直樹

特任助教 エリクソン・ユキコ

≪教育実践研究開発部門≫

准教授（実務家教員） 竹谷浩子

事務補佐員：竹ノ中亜由美

### 2. センターの概要

二つの部門を設置し、学校や教育委員会等の教育・行政機関や地域と連携を図りながら次のような活動を行っています。

教育実践研究開発部門では、高い専門性と優れた指導力を持つ教員を養成するための教育事業や研究・カリキュラム開発を行うとともに、学校の実践研究に対するコンサルテーションも行っています。学校教育相談実践部門では、現在の学校教育が抱える問題を解決・予防するための研究や、相談・支援活動を行っています。平成 18 年度から学校心理教育相談室（ここにこルーム）を設置し、学習や生徒指導・研究相談にかかわる心理教育的支援、学校心理学に関する教育・研究を行うとともに、学校心理学に関する研修の機会を提供しています。

### 3. 学内での年間活動状況

#### (1) 各構成員の主な担当授業

##### ①教育学部

○教職入門 ○教育課程論 ○教育方法・技術論 ○子どもの心と学び支援実習Ⅰ・Ⅱ

○心理教育的支援実習Ⅲ ○生徒・進路指導論 ○小学校教育実習入門

○小学校教育実習観察 ○小学校教育実習A・Ⅰ ○地域教育実践Ⅰ・Ⅱ

○教育実践演習 他

##### ②大学院教育学研究科

○学習開発基礎課題研究 ○学習支援論特講・演習 ○心理教育的アセスメント演習

○学習開発講究 ○生徒指導・教育相談の理論と実践 ○学校カウンセリング論演習

○学校カウンセリング論特講 他

#### (2) 主催・共催による公開講演会・シンポジウム・研究会等の活動

##### 子どもの心と学び支援セミナー

##### ①「安心して安全な学校・学級づくり」

期日：平成 25 年 5 月 18 日（土） 場所：比治山大学 6 号館 201 号室

講師：栗原慎二（広島大学）・中村孝（広島大学大学院）・松山康成（大阪府寝屋川市東小学校教諭）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50 名

##### ②「特別支援と学びのユニバーサルデザイン」

期日：平成 25 年 7 月 6 日（土） 場所：比治山大学 6 号館 201 号室

講師：バーンズ 亀山 静子（ニューヨーク市公認スクールサイコロジスト）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50 名

##### ③「ピア・トレーナー養成ワークショップ」

期日：平成 25 年 9 月 14 日（土）・15 日（日） 場所：比治山大学 6 号館 201 号室  
講師：栗原慎二（広島大学）・三原正司（福山市立緑丘小学校）・神垣幸一（広島市立二葉  
中学校）・他

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50 名

④「アセスの使い方・生かし方 Part II」

期日：平成 25 年 11 月 16 日（土） 場所：比治山大学 6 号館 201 号室

講師：栗原慎二（広島大学）・他

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生，大学教員 参加者数：50 人

⑤「ネット（LINE）を中心に」問題を、考えよう」

期日：平成 26 年 1 月 18 日（土） 場所：中央公民館 大集会室

講師：高橋 超（広島大学名誉教授・比治山大学名誉教授）・平重成司（北広島町立千田  
中学校）・木村範生（広島市立瀬野川中学校）・森恵梨菜（広島大学大学院）

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：50 名

⑥「楽器をとおした子どもの理解」

期日：平成 26 年 1 月 29 日（水） 場所：広島大学教育学部 第三・四会議室

講師：谷本仰（南小倉バプテスト教会）

対象：教職志望の大学生・大学院生 参加者数：47 名

⑦「教師と子どもの認知のズレ」

期日：平成 26 年 2 月 5 日（水） 場所：広島大学教育学部 第三・四会議室

講師：前田一誠（広島大学附属小学校）

対象：教職志望の大学生・大学院生 参加者数：47 名

⑧「“実践で使える” カウンセリング講座（ワークショップ）・学級経営」

期日：平成 26 年 3 月 21 日（金） 場所：比治山大学 6 号館 2 階

講師：神山貴弥（同志社大学心理学部教授）・杉田郁代（比治山大学）・谷田寿幸（広島こ  
ども療育センター心療部）・神垣幸一（広島市公立中学校）・他

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生 参加者数：未定

### 教員養成講座

①「教員採用試験に向けて～「生徒指導」を切り口に～」

期日：平成 25 年 7 月 4 日（木） 場所：広島大学教育学部 L304-1

講師：竹谷浩子（広島大学〔実務家教員〕）

対象：教職志望の大学生・大学院生 参加者数：27 名

②「教育現場に巣立つ皆様へ～教員生活のスタートを充実させるために～」

期日：平成 26 年 2 月 6 日（木） 場所：広島大学教育学部 L304-1

講師：竹谷浩子（広島大学〔実務家教員〕）

対象：教職志望の大学生・大学院生 参加者数：25 名

## 4. 対外的な教育・研究活動状況

### (1) センター専任教員による学外講演等の活動

①生徒指導・教育相談，認知カウンセリング，学習支援，アセスメント等に係る講演・演習指  
導 期間：通年（160 回） 対象：主に教員，保護者 人数：約 7500 名

②独立行政法人教員研修センター中央研修会

期日：6/26，8/8，9/3，9/26 場所：独立行政法人教員研修センター 人数：400 名

③「総社市不登校対策研修会」総社市教育委員会

期日：4/23，7/1，8/19，8/20，8/26，10/7，10/28，11/13，11/29，12/16，12/26，3/7

人数：約 1000 名

- ④「小中一貫教育の推進～自己指導能力を育み、学ぶ意欲を高める教育活動—生徒指導の三機能を生かした授業づくりを通して—」他  
福山市立済美中学校校内研修，同校区内小中学校教職員研修  
期日：5/23，6/5，7/31，12/25，1/24 人数：約 70 名
- ⑤「生徒一人一人の学力向上を目指した授業改善」他  
世羅町立甲山中学校教育研究会，校内研修  
期日：6/27，9/25，10/11，2/12 人数：約 40 名
- ⑥「他者とのかわりの中で思考力・表現力を高める児童の育成～学び取る力を育てる算数科の指導を通して～」 庄原市立永末小学校，校内研修 期日：11/20 人数：約 15 名

## (2) 研究活動

### センタープロジェクト研究

- ①岡山県総社市との協力に基づく共同研究  
「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革の研究」
- ②「日本版包括的アプローチと生徒指導・教育相談研修プログラムの開発的研究」

### 平成 25 年度教育学研究科共同研究プロジェクト

「グループアプローチによる子どもの学び支援（集団に対する学び支援に関する研究）」

### 平成 25 年度教員研修センター委託事業「教員研修モデルカリキュラム開発プログラム」採択

「学び続ける教員の基礎・基盤構築する初任者研修支援プログラムの開発—教育委員会・発行・大学で初任者を支えることを目指して—」

## 5. 教育・社会貢献事業

### (1) にこにこルーム（学校心理教育支援室）

《学習相談》にこにこルームの学習相談に参加した学生は 47 名。

#### ①前期（2013 年 5 月 8 日から 2013 年 7 月 31 日）水曜日の活動

東広島市内の小学校 14 校から 4 年生以上の児童 15 名を抽選で選び，5 月 8 日から 7 月 31 日までの計 12 回，毎週水曜日に認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行った。時間は，午後 5 時 30 分から午後 7 時 20 分までの 110 分で，算数の認知カウンセリングを 60 分，レクリエーションを 45 分，保護者も交えた帰りの会を 5 分を行った。セッション終了後，毎回ケース検討会を行った。

また，火曜日にも児童・生徒 5 名の認知カウンセリングを 60 分を行った。

#### ②後期（2013 年 9 月 30 日から 2014 年 2 月 19 日）水曜日の活動

東広島市内の小学校 14 校から 4 年生以上の児童 16 名を抽選で選び，9 月 30 日から 2 月 19 日までの計 10 回，毎週水曜日に認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行った。時間は，17 時 30 分から 19 時 20 分までの 110 分で，算数の認知カウンセリングを 60 分，レクリエーションを 45 分，保護者も交えた帰りの会を 5 分を行った。セッション終了後，毎回ケース検討会を行った。また，施設に限りがあるため，時間帯をずらして個別認知カウンセリングを 3 名追加して行った。この他に火曜日にも児童・生徒 4 名の個別認知カウンセリングを 60 分を行った。

#### ③夏休み・春休み

2013 年 8 月 5 日・6 日の 2 日間，1 回あたり 60 分，前期の学習相談に参加した小学生・中学生を対象に認知カウンセリング（サマー・セッション）を行った。参加者および参加学生は，それぞれ 6 名であった。

また，今年度初めての取り組みとして，2013 年 8 月 5 日から 7 日の 3 日間，13:00～17:00

の4時間、サマースクールを実施した。参加者は小学5年生を対象として公募し、算数・理科の授業や学習の仕方についての授業を学生が行った。授業を担当した学生は大学院2年生1名、学部4年生1名、3年生3名、2年生4名であった。また、授業を担当しない大学生も授業見学として参加した(4年生3名、3年生6名、2年生1名、1年生1名)。

2014年2月25日・2014年3月4日に認知カウンセリング(スプリング・セッション)を行う予定である。参加者予定者および参加予定学生は、それぞれ4名。また、後期のその他の活動に参加した学生は春休みも継続して参加する予定である。

#### ④その他の活動

2013年8月8日から9日の2日間、広島市内の公立中学校にて学習支援を行った。参加学生は9名(延べ人数)。

2013年4月から2014年2月にかけて、東広島市内の児童養護施設にて毎週土曜日・日曜日に学習支援を行った。参加学生は5名。

2013年5月から2014年2月にかけて、東広島市内の公立小学校にて毎週金曜日に学習支援を行った。参加学生は4名。

2013年7月27日・28日、8月3日・4日、8月17日・18日に広島市内で行われた農業体験活動(キャンプ)に学生ボランティアとして参加した。参加学生は6名。

にこにこ広島ルームでは、にこにこルーム個別学習相談窓口にて受け付けた小学生・中学生の児童・生徒4名に対して、国語・算数・英語の認知カウンセリングを30-60分を行った(教科・時間についてはそれぞれの相談のニーズにあわせて決定した)。

#### 《学校臨床相談》

一年間を通じて臨床心理士と大学院生の学生支援員による学校臨床相談活動を実施した。1回の面接は50分で、原則10回~15回を上限とした回数限定でカウンセリング、ソーシャル・スキル・トレーニング等を行った。学生支援員が担当するケースの判別は臨床心理士が行い、インテーク面接の実施後、学生が児童生徒の面接を担当した。学生の担当する面接の前後30分はスーパービジョンを行い、また、ケース検討会において公開スーパービジョンを実施した。

##### ①にこにこ広島ルーム臨床相談(毎週土曜日)

広島市内の相談室において、毎週土曜日(10:00~16:30)に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は16件で、延べ相談件数は74回であった(1/31現在)。相談に訪れたケースは小学校3年生~高校1年生までで、不登校および不登校傾向に関する相談、いじめに関する相談、発達障害に関する相談等が中心であった。広島ルームでの支援員は4名で、児童生徒を対象にソーシャル・スキル・トレーニングやカウンセリングを実施した。

##### ②にこにこ東広島ルーム臨床相談(毎週日曜日)

広島大学キャンパス内の相談室において、毎週日曜日(10:00~17:30)に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は11件で、延べ相談件数は42回であった(3/31現在)。相談に訪れたケースは小学校3年生~高校3年生までで、不登校および不登校傾向に関する相談、いじめに関する相談、発達障害に関する相談、その他精神症状に関する相談であった。東広島ルームの支援員は4名で、児童生徒を対象にソーシャル・スキル・トレーニングやカウンセリングを実施した。

##### ③集団ソーシャル・スキル・トレーニング

今年度初めての取り組みとして、地域の児童・生徒を対象に2013年12月12日~2014年2月6日までのあいだ、計6回集団ソーシャル・スキル・トレーニング(以下SST)を実施した。参加した児童・生徒は小学校4年生~中学校2年生までの8名で、発達障害傾向のある子どもや対人関係の苦手な子どもであった(男児2名・女児6名)。SSTは学生により計画・実施され、教員の指導のもと行われた。参加した学生は大学院生3名と学部生9名であった。

##### ④定期ケース検討会(木曜日18:00~20:30) 延べ21回

前期・後期共に定期ケース検討会を実施した。参加学生はあらかじめ登録した 27 名で、臨床心理士及び学生支援員の担当するケースの事例検討会を行った。また、事例検討会に合わせて勉強会を実施し、学級経営、児童・生徒のアセスメント、カウンセリング基本技法、ソーシャル・スキル・トレーニング技法等についての勉強会を実施した。

#### ⑤学校ボランティア実習

広島市内の小学校・中学校・高校、または、生活保護世帯の学習支援事業等においてボランティア実習をおこなった。学生は学校現場などで様々な困難さを抱えた児童・生徒の学習や心理的支援をとおして授業で学んだことを実践している。ボランティアに参加する学生は希望する実習先を選択し最低 5 回以上活動に参加し、毎回の実習後にレポートを提出し、教員 2 名によりフィードバックをうける。

#### (2) 学校コンサルテーション活動

概要：学校での生徒指導・教育相談に関するコンサルテーション

時期：通年（50 回） 対象：教員および保護者等 人数：延べ約 120 名

#### (3) フレンドシップ事業「ゆかいな土曜日」

教育実践総合センターの教員をはじめ学内委員 17 名から成るフレンドシップ事業運営委員会を組織し、「地域教育実践 I・II」の授業として通年で開講した。2013 年 6 月から 2014 年 2 月にかけて月例活動 6 回、シンポジウム 1 回（2/15）を行った。月例活動の活動時間帯は、午前 10 時から午後 4 時。参加学生は、受講学生と単位を必要としないボランティア学生の計 98 名。児童は東広島市立小学校 35 校から募集した 92 名。地域協力者は、東広島市下見地区を中心とする 11 名。児童 7～8 名と学生 5 名で 1 班とし、16 班を編成、さらに、はかせ（4 班）、ワールドツアー（4 班）、ぼうけん（4 班）、自然（4 班）の 4 グループに分けてグループ活動や畑での栽培活動、餅つきなどの活動を行った。

#### (4) 学外から委嘱された委員等

- ・文部科学省「不登校生徒に関する追跡調査研究会」委員
- ・一般社団法人学校心理士認定運営機構認定委員会副委員長
- ・NPO 広島産業カウンセリング研究会自由区顧問
- ・日本心理学会専門別議員（第 1 部門）
- ・日本学校教育相談学会広島支部長
- ・日本学校教育相談学会論文審査協力委員
- ・東広島市青少年問題協議会委員
- ・財団法人こども教育支援財団ディレクター
- ・日本ピア・サポート学会研究紀要委員長
- ・東広島市教育委員会学校教育レベルアッププラン推進委員会委員

#### 6. 研究紀要の刊行

- ・学校教育実践学研究（第 20 巻）の刊行